

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公表番号】特表2014-523026(P2014-523026A)

【公表日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2014-518572(P2014-518572)

【国際特許分類】

G 06 F 9/44 (2006.01)

G 06 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 06 F 9/06 6 2 0 K

G 06 F 9/06 6 1 0 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年5月15日(2015.5.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項15

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項15】

前記アプリケーションが仮想機械イメージで記憶され、前記規則が前記仮想機械イメージをマウントすることによって適用される、請求項9に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

[0019]図2は、汎用コンピューティングクラウド100の別のビューを示す。このビューでは、テナント120、122は、それぞれのクラウドホスト型アプリケーション124、126を有する。コンピューティングクラウド100は、アプリケーション124、126のコンピューター環境128、130を管理するファブリック125を有する。ファブリック125は、ゲストオペレーティングシステム、記憶サービスなどでVMを実行する多数のコンピューターを有し得る。アプリケーション124、126は、ウェブベースのアクセスに典型的な様々な構成要素を備えることができ、コンピューティングクラウド100によって提供されるリソースを使用することができる。コンピューター環境128、130は、Amazon EC2インスタンス(アマゾンマシンイメージ(AMI)によって構成されるような)、ロール(Microsoft Azureにおけるような)、管理されたコード環境を有するサンドボックスされたシミュレートされた部分的オペレーティングシステム(Google App Engineにおけるような)などに類似していてもよい。コンピューター環境128、130は、ロード、ネットワークトラフィック、予期せぬ故障などの現在の状態に従って、ファブリック125によって「拡張」され得る。そのような拡張は、必要に応じて計算リソース(ハードウェア、VM、サービスインスタンス、データベースインスタンスなど)を透過的に追加または取り除くステップを含み得る。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

[0021]図3は、2つの例示的コンピューティングクラウドアーキテクチャを示す。クラウドアーキテクチャ250は、Amazon EC2クラウドの1つのバージョンである。アプリケーション開発および配備は、テナントクライアントによって処理される。本クラウドは、機械イメージおよびオンデマンドインスタンスの形でクラウドコンピューティングサービスを提供する。アプリケーションは、仮想機械内のゲストオペレーティングシステムでホストされる。仮想機械およびデータベースのインスタンスは、サポートサービスからの必要に応じてクラウドによって提供される。待ち行列サービスは、仮想機械とアプリケーションインスタンスの間の通信を円滑に進めることができる。これらの構成要素がどのように作動し、協力するかの詳細は、他の場所で入手可能である。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

[0037]図8は、移行ツール320によって実行されるプロセスを示す。ステップ380で、移行ツール320のユーザーは、コンピューティングクラウドに移行されることになるターゲットソフトウェアまたはアプリケーションを指定する（そのツールおよび規則は、任意のアプリケーションに適用可能であるように設計される）。ステップ382で、移行ツール320が、ターゲットアプリケーションにアクセスする。これは、パッケージ形式を開くステップ、ソースコードファイルおよび構成ファイルを読み取るステップ、VMイメージをマウントするステップ、または、そのアプリケーションを調査するための他の手段を伴い得る。移行ツール320は、要素間の関係、依存状態、関連するファイル（たとえば、マニフェストおよびビルドスクリプト）などを識別することができる。ステップ384で、関連する規則セットが、規則ライブラリーからロードされる。ステップ386で、そのアプリケーションの様々な構成要素がパーズ（parse、構文解析）され、関連する規則が適用される。ステップ388で、出力が生成される。その出力は、パッチ、コード修正、推奨、または、その他を含む、前述の様々な形を取り得る。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

[0038]図9は、移行ツール320によって使用される読み取りツール400の例示的セットを示す。アプリケーションの内容にアクセスするために、移行ツール320は、VMイメージマウンター402、コードパーサー（コード構文解析ツール）404、インストールパッケージインスペクター406、アセンブリリーダー408、スキーマリーダー410、スクリプトリーダー412もしくはパーサー、コンパイラー、ソフトウェア開発環境、および／または、移行されるアプリケーションのタイプに関連する任意の他の知られている技法を使用することができる。VMイメージマウンター402は、VMイメージ形式を読み取り、ファイルシステムにそのイメージをマウントするように構成され得る。

結論

[0039]前述の実施形態および特徴は、揮発性または非揮発性コンピューターまたはデバイス可読媒体に記憶された情報の形で実現することができる。これは、光記憶装置（たとえば、コンパクトディスク読み取り専用メモリー（CD-ROM））、磁気媒体、フラッシュ

ュ読み取り専用メモリー（ROM）、または、デジタル情報を記憶する任意の現在のもしくは未来の手段などの媒体を少なくとも含むと考えられる。その記憶された情報は、機械実行可能命令（たとえば、コンパイル済み実行可能2進コード）、ソースコード、バイトコード、または、コンピューティングデバイスが前述の様々な実施形態を実行することを可能にするまたはそのようにコンピューティングデバイスを構成するために使用することができる任意の他の情報の形でもよい。これはまた、一実施形態を実行するプログラムの実行中に中央処理装置（CPU）命令などの情報を記憶するランダムアクセスメモリ（RAM）および／または仮想メモリーなどの揮発性メモリーを少なくとも含み、同様に、プログラムまたは実行ファイルをロードおよび実行できるようにする情報を記憶する非揮発性媒体を含むと考えられる。それらの実施形態および特徴は、携帯用デバイス、ワークステーション、サーバー、モバイルワイヤレスデバイスなどを含む任意のタイプのコンピューティングデバイスで実行することができる。

**【誤訳訂正6】**

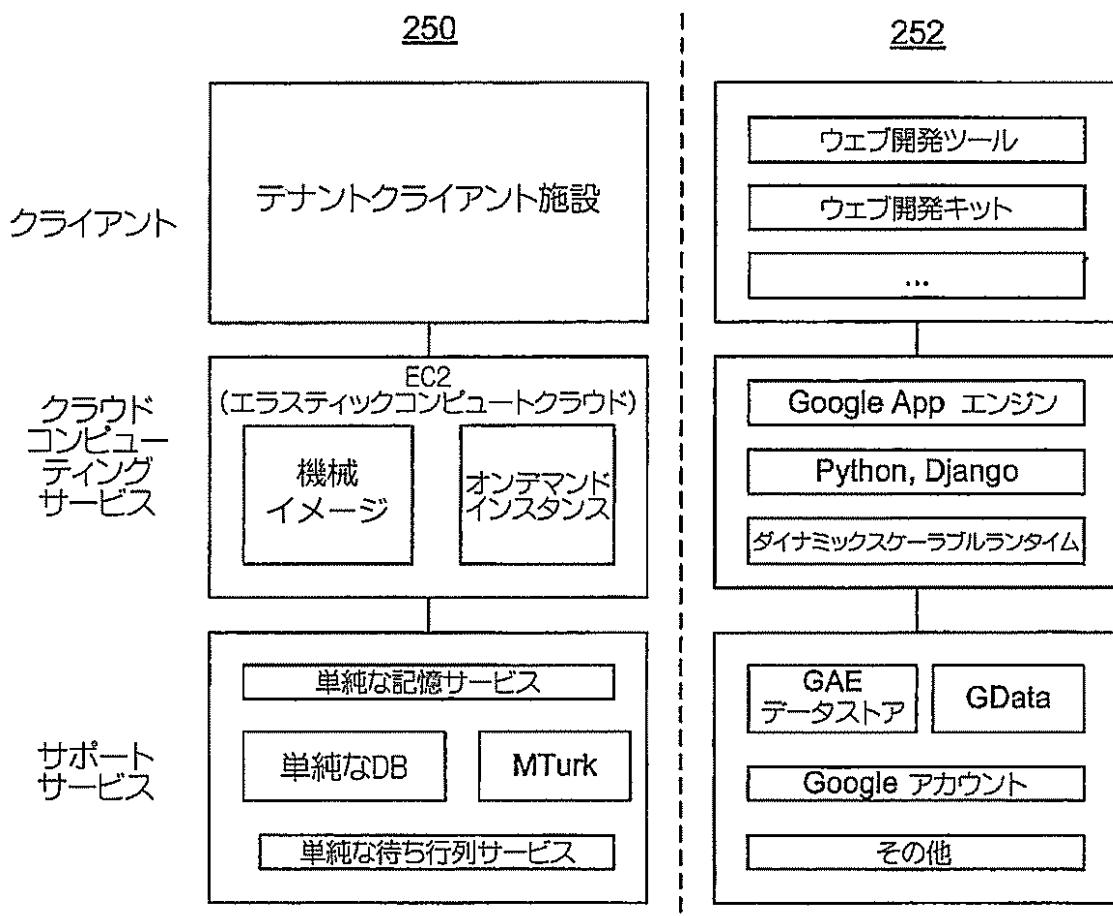
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図3】



**【誤訳訂正7】**

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図9】

